

CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

アパホテル 広島駅前大橋

CASBEE広島 2013年追補版Ver.2(BPI/BEI対応)

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

配慮項目	評価点	重み係数	内 訳			
■1.「地球温暖化対策」の推進						
1.1 建物の熱負荷抑制						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください 高い断熱性能の確保や日射に対する配慮により快適な居住空間を実現	3.0	0.10	Q1 室内環境	2 温熱環境	2.1 室温制御	3 外皮性能
	3.0	0.18				
	2.0	0.72	LR1 エネルギー	1 建物の熱負荷抑制		
小計	2.3	0.21				
1.2 自然エネルギーの利用						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください 屋光利用、通風、自然換気を考慮	3.0	0.50	LR1 エネルギー	2 自然エネルギー利用	2.1 自然エネルギーの直接利用	
	4.0	0.50	LR1 エネルギー	2 自然エネルギー利用	2.2 自然エネルギーの変換利用	
小計	3.5	0.10				
1.3 設備システムの高効率化						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。□ BEIでの評価値による。	4.4	1.00	LR1 エネルギー	3 設備システムの高効率化		
小計	4.4	0.15				
1.4 設備システムの効率的運用						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.50	LR1 エネルギー	4 効率的運用	4.1 モニタリング	
	3.0	0.50	LR1 エネルギー	4 効率的運用	4.2 運用管理体制	
小計	3.0	0.10				
1.5 資源・マテリアル対策						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。□ 主要水栓に節水コマの使用及び節水を図り雨水を再利用することで水資源を保護する。リサイクル材の使用に配慮する。	4.0	0.08	LR2 資源・マテリアル	1 水資源保護	1.1 節水	
	4.0	0.08	LR2 資源・マテリアル	1 水資源保護	1.2 雨水利用・雑排水再利用	1 雨水利用システム導入の有無
	3.0	0.04	LR2 資源・マテリアル	1 水資源保護	1.2 雨水利用・雑排水再利用	2 雑排水再利用システム導入の有無
	2.0	0.06	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.1 材料使用量の削減	
	5.0	0.19	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.2 既存建築躯体等の継続使用	
	5.0	0.16	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	
	5.0	0.16	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用	
	3.0	0.04	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.5 持続可能な森林から産出された木材	
	3.0	0.19	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	
小計	4.1	0.30				
1.6 ライフサイクルCO2排出率						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください 屋上からの廃熱に配慮。雨水利用。	5.0	1.00	LR3 敷地外環境	1 地球温暖化への配慮		
小計	5.0	0.13				
1.「地球温暖化対策」の推進の評価	3.7	0.69				
■2.「ヒートアイランド対策」の推進						
2.1 温熱環境の向上						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 環境・周辺への配慮は対応が難しいが出来る限り配慮する	3.0	0.49	Q3 室外環境(敷地内)	1 生物環境の保全と創出		
	3.0	0.24	Q3 室外環境(敷地内)	3 地域性・アメニティへの配慮	3.2 敷地内温熱環境の向上	
	3.0	0.27	LR3 敷地外環境	2 地域環境への配慮	2.2 温熱環境悪化の改善	
小計	3.0	0.96				
2.2 交通負荷抑制						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 車両及び人通りの多い北側道路を避け、南側道路より車の出入口を確保する。また敷地内に駐車場の設置基準52台に対し、88台を確保している。	5.0	1.00	LR3 敷地外環境	2 地域環境への配慮	2.3 地域インフラへの負荷抑制	3 交通負荷抑制
小計	5.0	0.04				
2.「ヒートアイランド対策」の推進の評価	3.1	0.17				
■3.「長寿命化対策」の推進						
3.1 耐用性の向上						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 建物における耐用年数の確保に配慮する	3.0	0.47	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.1 部品・部材の耐用年数	1 耐震性
	3.0	0.12	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.1 部品・部材の耐用年数	2 免震・制振性能
	3.0	0.09	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	1 躯体材料の耐用年数
	5.0	0.09	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔
	3.0	0.04	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔
	4.0	0.03	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	4 空調換気ダクトの更新必要間隔
	4.0	0.06	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	5 空調・給排水配管の更新必要間隔
	3.0	0.09	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	6 主要設備機器の更新必要間隔
小計	3.3	0.47				
3.2 設備の更新性						
(コメント) ※設計の計画上添段に配慮した事項を記載してください。 必要な箇所に点検口を設置する。	4.0	0.17	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	1 空調配管の更新性
	4.0	0.17	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	2 給水配管の更新性
	5.0	0.11	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	3 電気配線の更新性
	5.0	0.11	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	4 通信配線の更新性
	5.0	0.22	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	5 設備機器の更新性
	3.0	0.22	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	6 バックアップスペース
小計	4.2	0.53				
3.「長寿命化対策」の推進の平均点(上記2項目)	3.8	0.14				
■重点項目の総平均(上記3項目)	3.6					